

第4回 水道料金等審議会 議事要旨

日 時	令和7年1月9日(木) 10時00分 ~ 10時40分	
場 所	知多市役所 協議会室	
出席者	委員	会長、副会長、 委員7名
	事務局	都市整備部長、水道課長、 水道課統括主任、担当職員
<p>次 第</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 配布資料の確認</p> <p>3 第3回議事要旨の確認</p>		
4 事務局説明 (交付金制度の 改正について)	<p>事務局：令和6年12月20日に国土交通省から社会資本整備総合交付金交付要綱改正の通知があり、先日説明会に出席した。（資料による説明）</p> <p>会長：交付金をいただけることは確実に became したが、いくらになるかは不透明であるということ。これまで審議してきたように、知多市の水道事業の運営は余裕があるわけではない。内部留保資金が令和8年度末には枯渇するという中で改定の議論をしてきた。国の交付金が少し増額になる可能性があるが、それによって余裕が十分にある状態になるとは言い難い。こうしたことから今までの資料に基づいて審議を進めたいとの説明だが、何か意見はあるか。</p> <p>委員：交付率は良くなったが、交付対象になる事業者が増えて交付金の予算が足りなくなる。その結果、収支予測で計上していた交付金額よりも、実際は減ってしまう可能性もあるということか。</p> <p>事務局：県の説明では、市の要望額より交付額が少なくなることは十分に考えられるとのことでした。ただし、補正予算は当初予算に比べて配分が良くなる可能性があるという説明もありました。どのような方法が効果的かを見極めていきたいと考えています。</p> <p>委員：上下水道耐震化計画を作成するということがだが、下水道課との連携はできているのか。そのあたりの連携について、市民の皆さんに理解していただくことが重要になると思う。</p>	

<p>4 議事 (1) 答申案の審議</p>	<p>事務局：現在、下水道課と密に連携を取りながら上下水道耐震化計画を作成しているところです。内容は、有事の際に避難所や病院、福祉施設などに水が供給できて排水もできるよう、双方が耐震化を計画的に進めるように、というものです。整備する順番など、どのように進めることが一番効果が上がるのか、また、市民の皆さんにどこの避難所が耐震化済みであるか、などの情報を上下水道で合わせて公表していきたいと考えています。</p> <p>会長：知多市は水道課、下水道課と課は違いますが、これからも密に連携を取り合い、災害発生時にも市民生活に支障のないようにしていただきたい。</p> <p>これまでの我々の議論は大きな意味があると思うので、今回の審議会としては国の動向に関わらず従前の考え方で料金を改定することでよいと思う。また、国の制度も今後変わる可能性もあるので、次回の審議会で審議する場合には新しい交付金の動向で知多市の経営状況を検証し、総合的にもう一度判断するのがよい。</p> <p>会長：答申原案に対して、いくつか指摘事項をいただいた。それを踏まえた修正答申案の説明をお願いします。</p> <p>事務局：3か所で追加、修正した。（資料による説明）</p> <p>委員：修正案に追記して欲しいというわけではないが、一点だけ要望し、今後の活動に取り組んでもらいたい。集合住宅の戸別メーターについて、今までも議論になったが、水道メーターに係る費用の一部を市が負担している事例があると聞く。今後、そういった自治体が増えることも考えられ、情報を収集し今後の検討事項としていただきたい。</p> <p>会長：他はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この答申（案）を当審議会の答申とすることに御賛同していただける方は挙手を願います。</p> <p>（全員挙手）</p> <p>会長：全員の挙手をいただいたので、当審議会からはこの内容で答申することとする。</p>
<p>5 答申 6 市長あいさつ</p>	<p>（会長が読み上げ、会長から市長に手渡し） （これまでの審議に対するお礼）</p>